



風と緑と太陽

たてわり班活動「ふれあいタイム」

校長 岡田 龍二

6月4日(火)に、児童会主催「ふれあいタイム」がありました。これは、高学年(4～6年)の学級や委員会の子たちが計画したイベントに、1年生から6年生で編成された15名ほどのたて割り班で順番に参加していくものです。また、たて割り班で弁当も食べ、交流を図ります。

高学年の子たちは、みんなが楽しんでくれるように学級や委員会の仲間で考えて計画を立てます。「宝さがしゲーム」「HB ふうせんバレー」「ベルマークさがし」など、工夫したイベントが目白押しです。高学年の子は、低学年の子たちを引き連れ、それぞれの会場で、優しくルールを教えたり、一緒になってゲーム等に参加したりします。学校全体がとても活気にあふれ、ほほえましい光景が見られます。

これまでの城山小の歴史をたどってみると、どうやら平成4年から児童会主催の取り組みが「熱血!城山学園」という名称で始まっています。途中平成7年から「ふれあいタイム」という名称になったようですが、実におよそ20年もの伝統がある行事なのです。

城山小学校の子どもたちの面倒見のよさは、こういったところから培われてきているのかもしれない。



<平成4年「熱血!城山学園」>



<平成25年「ふれあいタイム」>

尾張旭市立城山小学校が、毎年の楽しみ「玉リレー」「ベルマークさがし」「ハンター」といふイベントを、今年も7月7日(土)に開催し、高学年(4～6年)の学級や委員会の子たちが計画したイベントに、1年生から6年生で編成された15名ほどのたて割り班で順番に参加していくものです。また、たて割り班で弁当も食べ、交流を図ります。

高学年の子たちは、みんなが楽しんでくれるように学級や委員会の仲間で考えて計画を立てます。「宝さがしゲーム」「HB ふうせんバレー」「ベルマークさがし」など、工夫したイベントが目白押しです。高学年の子は、低学年の子たちを引き連れ、それぞれの会場で、優しくルールを教えたり、一緒になってゲーム等に参加したりします。学校全体がとても活気にあふれ、ほほえましい光景が見られます。

これまでの城山小の歴史をたどってみると、どうやら平成4年から児童会主催の取り組みが「熱血!城山学園」という名称で始まっています。途中平成7年から「ふれあいタイム」という名称になったようですが、実におよそ20年もの伝統がある行事なのです。

城山小学校の子どもたちの面倒見のよさは、こういったところから培われてきているのかもしれない。

<中日新聞記事 25.6.11>

陸上記録会

5月31日、市陸上記録会がありました。壮行会では、全校児童が選手を応援し、今年は応援団も結成されました。選手もそれにこたえてよくがんばりました。

残念ながら大会に出場できなかった子ども、自己の記録更新を目指して、毎日とてもしっかり練習に励みました。



<入賞者>

男子ソフトボール投げ	優勝	神崎一毅さん
女子走り高跳び	2位	水野花音さん
男子1000m走	2位	木村直人さん
女子1000m走	2位	小島知夏さん
男子走り幅跳び	3位	若杉悠斗さん

今に伝わる室町文化



<茶道>

体験はどれも初めてのことばかり。講師の先生の説明を熱心に聞き、とても興味深く貴重な体験をすることができ、みんな満足そうでした。

講師のみなさん、ありがとうございました。

<水墨画>

6月15日（土）に学校公開を行いました。

6年生は、恒例の室町文化祭。地域の方に講師をお願いしました。

室町文化に縁のある、「華道」「茶道」「盆踊り」「水墨画」「箏」の5つについて、社会科で学習したり、総合的な学習の時間を使って調べたりしてきたことを発表し、その後実際に体験をしました。

